

雄川発電所増設工事

のあらまし

昭和三十年度第一回
追加予算定る

雄川発電所増設工事の問題は先に小組合長会で簡単に発表し御協力を願つたのであります。この問題は昭和二年八月始めて議会の協議会で論議され、その間進元田代村の要求を又工事設計の内容も相当に変遷し、漸く大体の結論が得出された歴史あります。

現在工事さんとしている概要

を申延ますと

開渠式堰堤を変更し水の使用を

朝夕名四時間使用運転し、他の時間は貯水する方法、いわゆる電力需要の一一番多い時間で貯水する方法が取られて居ります。

貯水の高さは現在の高さどし

その上に貯水三、二米を設ける。

この庫を最大に開いた時の放水口

の高は四、三米となる。

堰堤の中は現在の約三〇米を倍の

七一、五米とし、門扉の取扱部分

が出来る如とする。

こうして平常時最大に貯水した

場合は、鶴岡橋上流約百米迄影響

のあることとなる。尚洪水時は電

力、電力、發動機の三段階の作用

が出来る如とする。

百聞は一見にしかず、とか言われて居りますように見て自らの問題として研究するのであります。

私の部落では七月の巡回映画は公

民館長の熱意と部屋の希望によ

り毎年実施して載いたのですが当

日は塵立として全部落の出席

を見ました。当部落始じまつてこ

なことはないようと思われます

、「集い」相互教育の場であります

百聞は一見にしかず、とか言われて居りますように見て自らの問題として研究するのであります。

私の部落では七月の巡回映画は公

民館長の熱意と部屋の希望によ

